

《今、注目の機能性肥料》

亜リン酸液肥を使いこなそう!

全国農業協同組合が出版している「グリーンレポートNo.504」においても「亜リン酸肥料の特徴とその効果」と題して、増収効果、品質向上効果、花数の増加、根張りの向上などが紹介されています。おすすめの亜リン酸液肥3商品をご紹介します。



文 一百野昌世 いおのまさや
NPO法人オーガニック検査員協会
元副理事長



あまり気づかないリン酸欠乏

元肥で施用する化学肥料由来のリン酸成分は、火山灰土壌ではアルミニウムと結合し、また、洪積層地帯の粘土分の多い赤土地帯では鉄分と結合し、不溶性のリン酸となってしまう、植物の根からは吸収されません。

また、プランターや鉢物に施した化成由来のリン酸も、その大部分は水やりと共にほとんどが流亡してしまい、植物に十分供給されません。

リン酸は植物体内での移動が激しく、欠乏症は古い葉から現れます。しかし、明らかでない欠乏症は現れにくく、ほかの要因によるものなのかはなかなか見分けがつかれません。リン酸が欠乏すると、下葉が枯れ始め、葉っぱのツヤがなくなり、暗い濃緑色になります。茎が太くならないとか、葉の色が暗くなってきたら、潜在的欠乏症が出ているのかもしれない。



下葉が枯れて黄色に変色したアスターの苗

リン酸を効かせてからチッ素肥料を

リン酸は、細胞核の構成成分で、生長の盛んな根や芽の先端、花や果実などに移行して細胞の増加に不可欠な成分です。細胞が著しく増加する時期に適量のリン酸を吸収させることで、分けつ、伸長、開花、結実がよくなり、植物体が丈夫になり、病気に対する抵抗力も強くなります。葉のツヤがなかったり、茎が太くならないというところでチッ素肥料を多用する人が多いですが、リン酸との相互作用を考えると、まずはリン酸を効かせてからチッ素を施す方が効果的です。

速効的で、葉害の少ない亜リン酸液肥

今回ご紹介する亜リン酸液肥は、通常のリン酸に比べ、分子が小さく、水や有機溶媒に溶けやすく、葉からすばやく吸収されます。しかも、アルミニウムや鉄などと結合しにくく、葉面散布でも水や



実際に「ホスカル」を使用して出荷される苗

用途に合わせた使い分け

配合パターン	Ca強化型配合	チッ素中断花実充実型配合	生育促進万能型配合
商品名	ホスカル	ホストップ	ホスアミノ
成分(N:P:K)	2:15:0 + Ca 5.0	0:25:20	4.5:2.0:1.5
期待できる効果	発根・分けつ促進、着花(着果)促進、着色促進、日もち促進、チッ素中断による時限的わい化効果、高温時・チッ素過多時などのCa欠乏対策、細胞壁の硬化促進	発根・分けつ促進、着花(着果)促進、着色安定、糖度向上、日照・気温ストレスの回避による品質向上、チッ素中断効果、葉菜類の止め肥え、硝酸態チッ素の低減	栄養生長促進、発根・分けつ促進、着花(着果)促進、着色安定、糖度向上、日照・気温ストレスの回避による品質向上、徒長防止、硝酸態チッ素の低減
おすすめの用途	Ca欠乏の予防と補給、果実の品質改善、がっちりとした苗作り	苗の定植時の活着・発根促進、リン酸欠乏対策(葉色、茎)、根傷み・なり疲れ時の回復	低温・日照不足時の生育促進、葉菜類の品質安定、果菜類の品質アップ

りでも効果を発揮します。亜リン酸は植物の葉面から、または根から直接吸収され、一部は植物体内の活性酸素と結びつきリン酸に転化し、また、一部は亜リン酸のまま植物体利用されます。施用後、その肥効は2〜3日で表れます。また、メーカーの亜リン酸肥料と違い、基準通りの希釈倍率においては葉害の心配がないのが特徴です。

家庭菜園にもってこいの 万能選手「ホスアミノ」

どれを使ったらよいか迷われる方、使い分けが面倒な方におすすめの商品。水やりがわりでも葉面散布でもご使用いただけます。葉菜類や花き類は600〜800倍に、果菜類は500倍に希釈して、10〜14日間隔でご使用ください。苗の定植時には必ず苗をドブ漬けするか、水やりがわりに与えるのが効果を出すポイントです。

チッ素分は全量がゼラチン由来のアミノ酸で、吸収性に優れ、低温時や低日照時でも植物に吸収され、配合された亜リン酸とカリの相乗効果により、少ないエネルギーで効率的に生長を促します。

チッ素を切りたい、 リン酸欠乏時の速効補給 「ホストップ」

植物の種類を問わず、下葉が枯れたり、葉のツヤがなくなり、暗い濃緑



台風で冠水したハウレンソウ畑

色になったり、茎が太くならないと感じた時におすすめです。亜リン酸を補給することによって、チッ素とカリのバランスを整え、細胞分裂を促進し、過剰なチッ素分を消化します。1000倍に希釈して水やりがわりに、7〜14日間隔で数回ご使用ください。そのあとは「ホスアミノ」に切り替えてお使いいただくか、通常ご利用されている液肥に、2〜3割「ホストップ」を混用してお使いください。

プロの農家では、ハウレンソウ、コマツナ、レタスの収量・品質の安定に、ネギ類のとろけ防止に、ブロッコリーの花蕾の品質安定に、トマトの着色安定に、アスパラガスのチッ素中断に多数施用事例があります。

（以下の症状を感じたらぜひ使ってみてください。）
根張りがよくない／根毛が粗大で毛細根が少ない／長雨で根傷みが出ている
／葉の幅が狭く、葉が小さい／下葉が暗濃緑色から紫色になり、落葉する。チッ素が効きすぎて徒長きみ／開花結実がよくない／果実のつきが悪い／果実が太らない／果実の色づきが悪い／糖度がのらさず、酸味が強い／品質が悪い

カルシウムと一緒に効く 亜リン酸「ホスカル」

力カルシウムを好む植物におすすめの配合です。相互に相性のよい吸収性の高い亜リン酸とカルシウムが同時に配合された商品はほかにはありません。亜リン酸が細胞分裂を促し、その際にカルシウムを同時に吸収し、細胞壁を丈夫にします。亜リン酸とカルシウムが同時

に吸収されて初めてカルシウム肥料効果が発揮されます。カルシウムの要求度合いに合わせて500〜1500倍に希釈して葉面散布します。カルシウムは根からの移行性が悪いいため、水やりよりは葉面散布がおすすめです。10〜14日間隔で散布します。2012年2月号に掲載されたベテラン生産者の成功事例リポート「ホスカルを利用した下葉まで元気なアスターの苗作り」でも紹介されています。

そのほか、トマトの尻腐れ症防止に、イチゴの軟果防止に、花き類のチップバイン(※)解消に、花苗生産者においては出荷輸送時の徒長劣化防止などで多数利用事例があります。

（以下の症状を感じたらぜひ使ってみてください。）
ひよろひよろと軟弱で、かたくしまった感じにならない／根張りが悪い／長雨などで根腐みして生育がよくない／葉に光沢がなく暗い濃緑色でツヤのあるやわらかい緑色にならない／茎が太らない、新芽がなかなか伸びない／下葉が変色したり、枯れやすい／花芽がなかなかできない、増えない／花房や果実の肥大や成熟が遅い／収穫物の品質が劣り、貯蔵性が悪い(傷みやすい)／尻腐れ、芯腐れなど生理障害にかりやすい／ハダニ、アブラムシ、エカキムシなどがつきやすい／肥料をやりすぎたので、早く肥効を切りたい

カルシウムを好む植物には「ホスカル」がおすすめ!

果菜類	トマト、ナス、キュウリ、ピーマン、イチゴ、スイカ、カボチャなど
マメ類	エンドウ、エダマメなど
葉菜類	ハウレンソウ、コマツナ、レタス、パセリ、ハクサイ、キャベツ、セロリ、ネギ、タマネギなど
根菜類	ニンジン、カブ、ダイコン、ジャガイモ、サトイモなど
花き類	パンジー、スイートピー、ストック、マリーゴールド、カーネーション、キク、ジニア、キンセンカ、ヒマワリなど

おすすめの亜リン酸液肥

亜リン酸とカルシウムを配合した、これまでになかったタイプの液肥です。根張りがよくない、茎の立ち上がりが悪い、ハダニやアブラムシなどの害虫が付きやすいなど、植物全体に元気がない時に威力を発揮します。

チッ素とカリのバランスを整え、細胞分裂を促進して過剰なチッ素分を消化します。通常利用している液肥に2〜3割混用してご使用ください。

チッ素成分はゼラチン由来の高級アミノ酸(グリシン、プロリン、アラニン、オキシプリン、グルタミン酸、アスパラギン酸など)のみ。また、低分子で吸収性の高い亜リン酸を配合することで、リン酸の効きがよくなり、散布後すぐに効果が表れます。



ホスカル
314-2105 500ml 1本 2,500円
314-2106 10ℓ 1箱 18,400円
■日本製



ホストップ
314-2103 500ml 1本 2,600円
314-2104 10ℓ 1箱 21,000円
■日本製

ホスアミノ 原液 500ml
314-2101 500ml×2本 1組 4,300円
■日本製

原液と希釈済みスプレーをセットで
ホスアミノ 原液+スプレーセット
314-2102 1セット 3,400円



■セット内容：原液ボトル(500ml) 1本、スプレーボトル(500ml) 1本 ■日本製
※パッケージが写真と異なる場合があります。

ご注文締切：9月30日 お届け時期：ご注文受付後2週間前後